

2026年3月期 第1四半期

決算説明会

2025 年 8 月 8 日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

目 次

1. 経営戦略トピックス

2. 2026年3月期 第1四半期決算

3. 2026年3月期 業績見通し

4. 参考資料

1. 経営戦略トピックス

適正な投資評価基準を策定し、実行することで、最適となる成長投資と株主還元を実現。

➡ステークホルダーへの責務を全うし、企業価値向上を目指す。





2025年5月13日

各位

会社名 株式会社東邦システムサイエンス
代表者 代表取締役社長 小坂 友康
コード番号 4333 東証プライム市場
問合せ先 取締役経営管理本部長 砂賀 昌代
(電話 03-3868-6061)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2025年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、2025年3月31日を基準日とする剰余金の配当（2025年3月期期末配当）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は2025年6月25日に開催予定の第54回定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2024年3月期)
基準日	2025年3月31日	2025年3月31日	2024年3月31日
1株当たり配当金	25円00銭	20円00銭	20円00銭
配当金の総額	433百万円	—	365百万円
効力発生日	2025年6月26日	—	2024年6月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要課題と位置付け、企業としての競争力の向上と企業価値の最大化の追求によって、長期かつ安定的な配当を継続するとともに業績や内部資金の確保などを総合的に判断し、総還元性向は50%程度とすることを基本方針としております。当該方針に加え、当年度の業績及び中期経営計画第一期で設定した計数目標を達成したことを踏まえ、今般、1株あたり5円の増配を実施することにいたしました。これにより2025年3月期の期末配当は25円となり、すでに実施済の中間配当金とあわせた年間配当金は1株当たり45円となります。

(参考) 年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末	期末	年間
当期実績	20円00銭	25円00銭	45円00銭
前期実績 (2024年3月期)	20円00銭	20円00銭	40円00銭

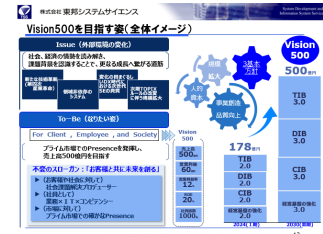
この度、「剰余金の配当（増配）に関するお知らせ」に記載のとおり、2025年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを取締役会で決議いたしました。

当社は、株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要課題と位置づけ、企業としての競争力の向上と企業価値の最大化の追求によって、長期かつ安定的な配当を継続するとともに業績や内部資金の確保などを総合的に判断し、総還元性向は50%程度とすることを基本方針としております。

当該方針に加え、**当年度の業績及び中期経営計画第一期で設定した計数目標を達成**したことを踏まえ、今般、**1株当たり5円の増配**を実施することにいたしました。これにより、2025年3月期の期末配当は25円となり、すでに実施済の中間配当金とあわせた年間配当金は1株当たり45円となります。

今後も、**持続的な事業の成長と中長期的な企業価値向上**を目指し、**収益力、資本効率の向上**を図ってまいります。

Vision500への「通過点」：持続的な成長に向け、高収益性の実現を目指す



事業

デジタルビジネス 売上

100億円

エンドユーザー 売上比率

40%

財務・投資

M & A投資

50億円以上

生成AI
新規ビジネス
品質・生産性投資

3 億円

人財

**新卒採用
80名**

**中途採用
10名**（含む第二新卒）

マルチPM
100名

**業務資格
800名**

**先端技術資格
500名**

**AI研修受講
1000名**

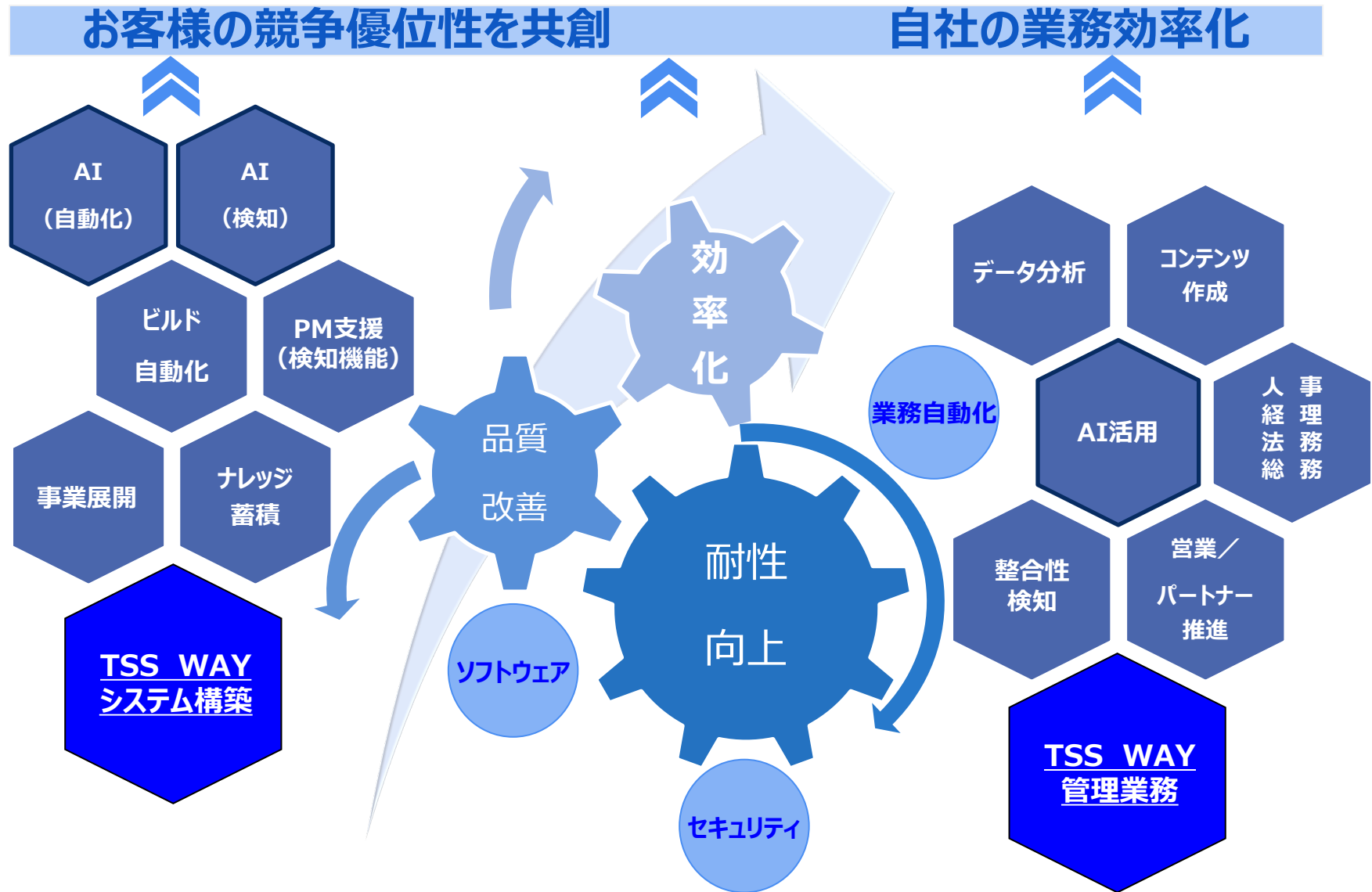
**サステナビリティ
DE&I**

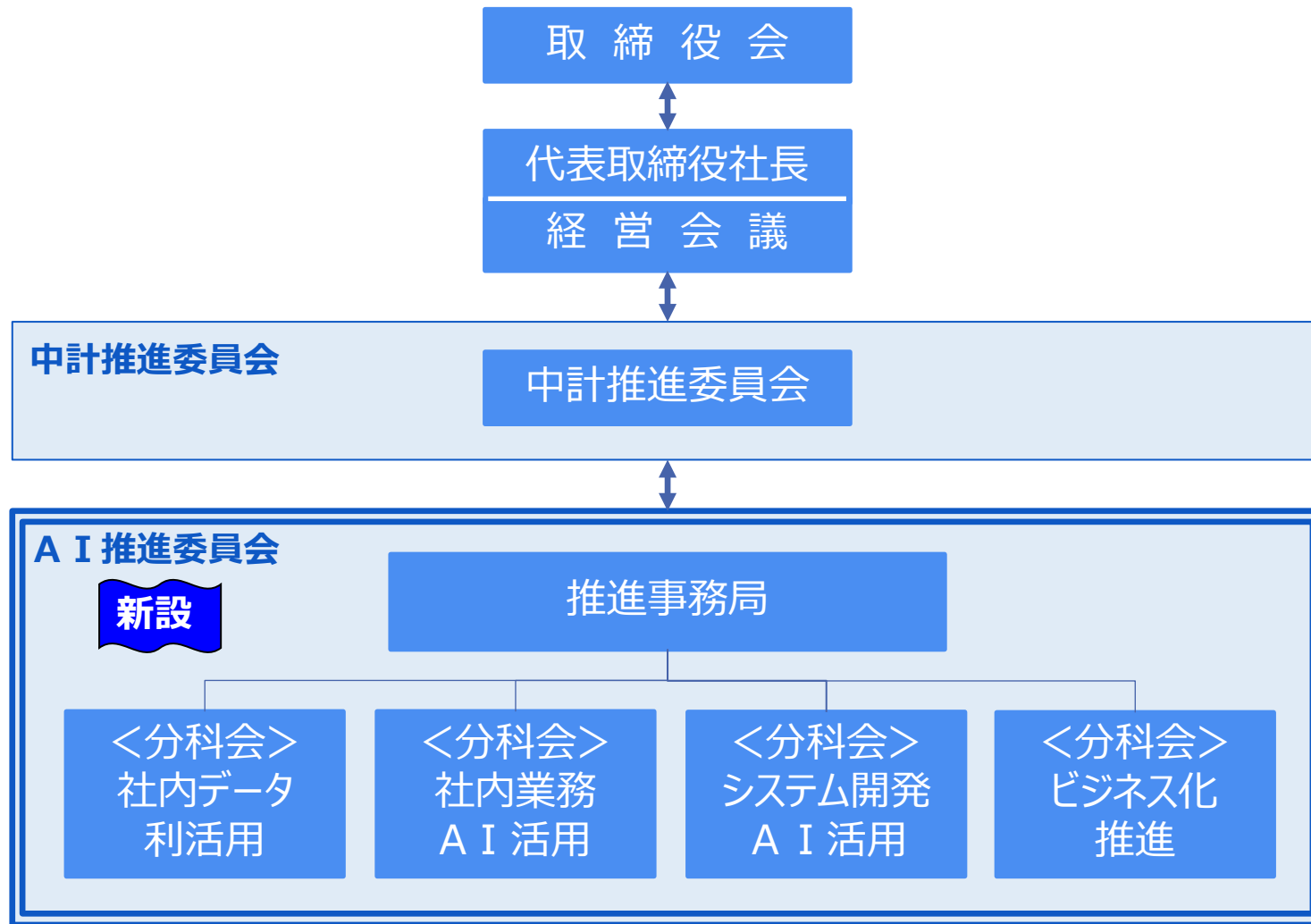
**GHG排出量
83t-CO₂**

女性社員比率
28%

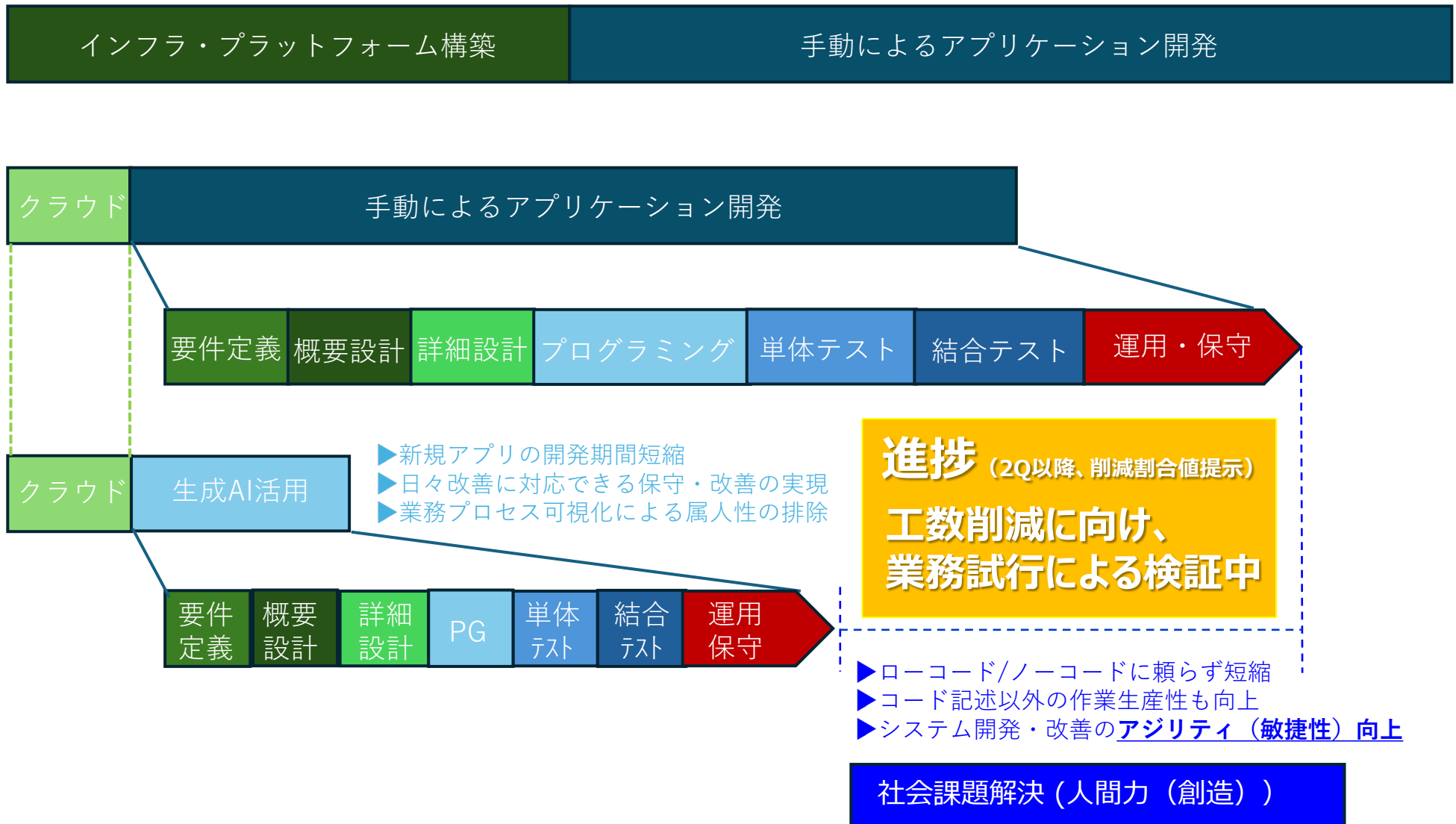
女性管理職比率
13%

生成AIの活用（実現したいこと）





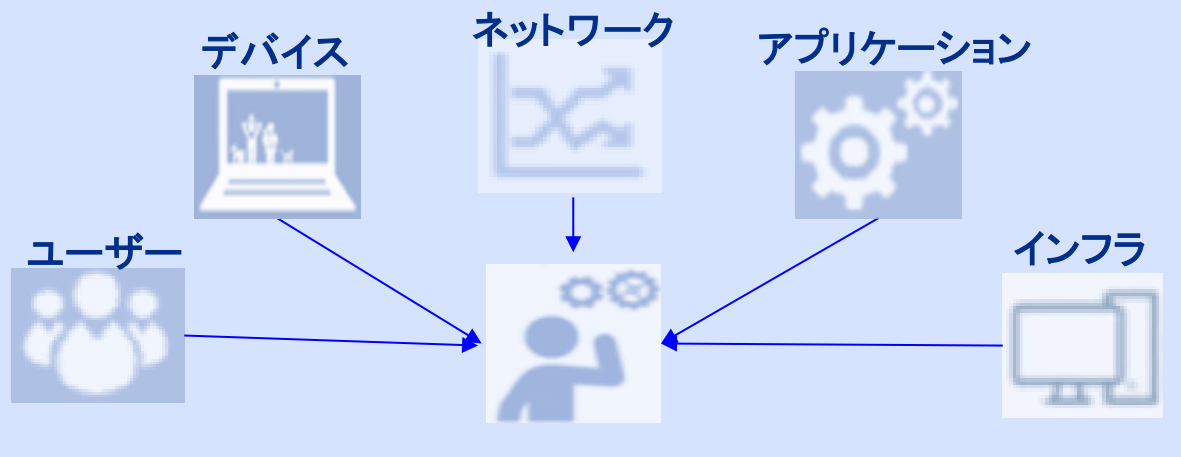
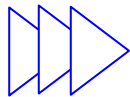
A I 推進（ソフトウェア開発の効率化推進中）



A I 推進(社内業務効率化推進中)

【A I 推進（業務効率化）】

データ収集



生産向上

費用削減

機動最適

「効率化 検証・推進中」

営業

経理

人事

総務



< 実績 >>>

Open Chat AI

インテリジェンスセールス AI

アップデート >

①業務日報チェック

+ ②提案書自動生成

③労務業務自動化



効率化

機動性

柔軟性

優位性

【人的資本経営】

理 念 人こそ財産

ミッション

社員一人ひとりが、主体的に**キャリアビジョン**を描き、そこに向かって成長し、会社は、社員の能力発揮、キャリアの実現を後押しする環境を整備することにより、社員の**持続的な成長・活躍**を促進し、**企業価値**を高める。

ポリシー

1. 多様性のある**キャリアデザイン**を実現可能な社内制度と文化の構築
2. 活躍促進するための**成長実感サイクル**の構築

人財の持つ価値を高めるために、
育成費として、人財への投資を行う



TSS 7'Credo

Change
「進化」



【実 績】

▶生成AIセミナー

受 講 率 94.4 %

▶Java Silver全員合格

新 卒 全社員 47 名

▶Udemy受講（自己研鑽）

受 講 者 増 大

人的資本経営を支える
「学びの基盤」を整えるため
Udemy Businessを活用
した社員育成を実施

株式会社東亜システムサイエンス



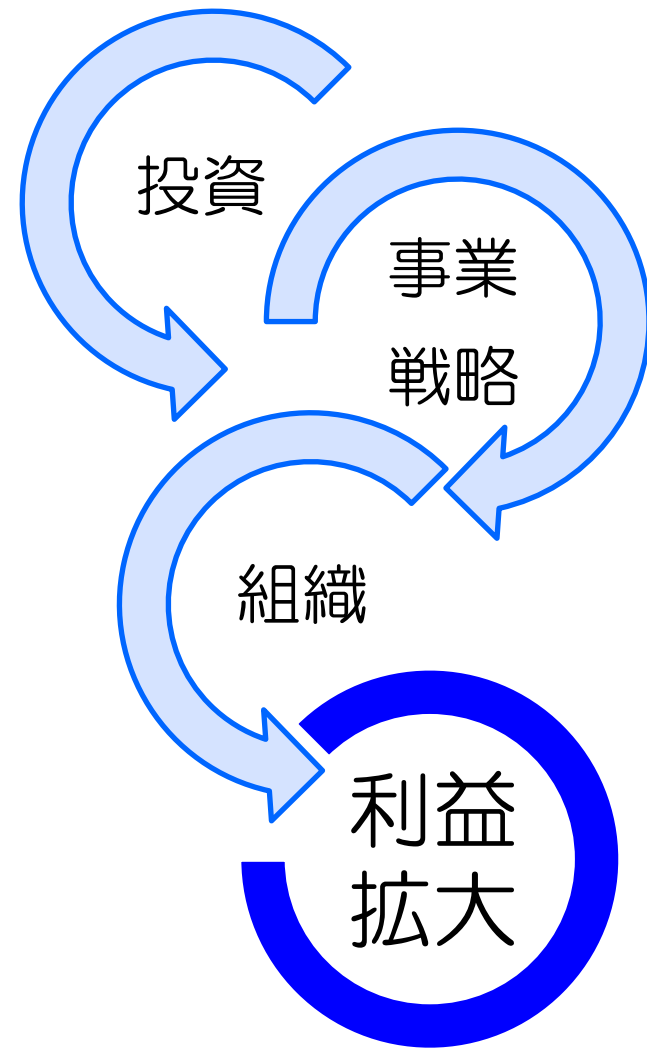
引用元：<https://www.benesse.co.jp/udemy/business/case/systemscience.html>

企業価値を高める資本
「人 財」



2. 2026年3月期 第1四半期決算

【受注面】注力した取り組み事項



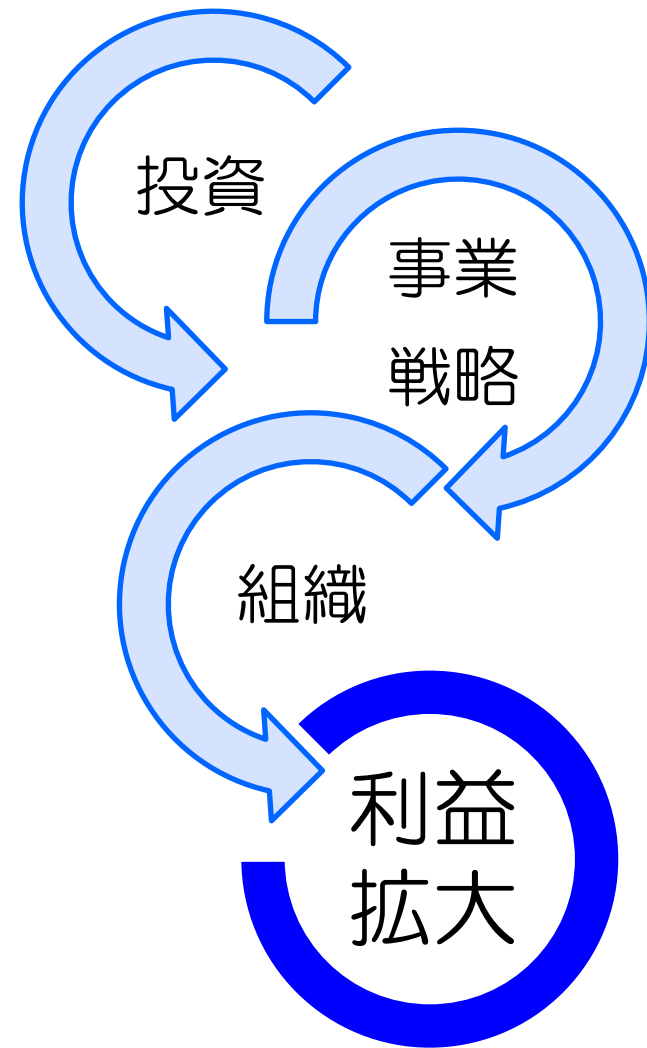
営業力の強化（ISAツールの活用）

DX開発推進センターを活用した受注規模の拡大

DX案件の受注、拡大

統合、マイグレーション案件の拡大、新規受注

【生産面】注力した取り組み事項



人的リソースの有効活用（徹底した稼働管理）

若手社員の教育投資（DX技術資格、Java資格取得）

ビジネスパートナーの増強を図るためのパートナープール制度

徹底したプロジェクト監視による品質向上

(単位：百万円)

	2025.3月期 第1四半期（累計）	2026.3月期 第1四半期（累計）	増減額	増減率(%)
売上高	4,273	4,174	△99	△2.3%
営業利益 (営業利益率)	332 7.8%	437 10.5%	105	31.6%
経常利益 (経常利益率)	336 7.9%	442 10.6%	105	31.5%
当期純利益	231	304	73	31.6%

(単位：百万円)

セグメント	2025.3月期 第1四半期（累計）	2026.3月期 第1四半期（累計）	増減額	増減率 (%)
ソフトウェア開発	4,184	4,089	△95	△2.3%
金 融	3,048	2,901	△146	△4.8%
非 金 融	1,136	1,187	51	4.5%
情報システムサービス等	88	85	△3	△4.3%
合 計	4,273	4,174	△99	△2.3%

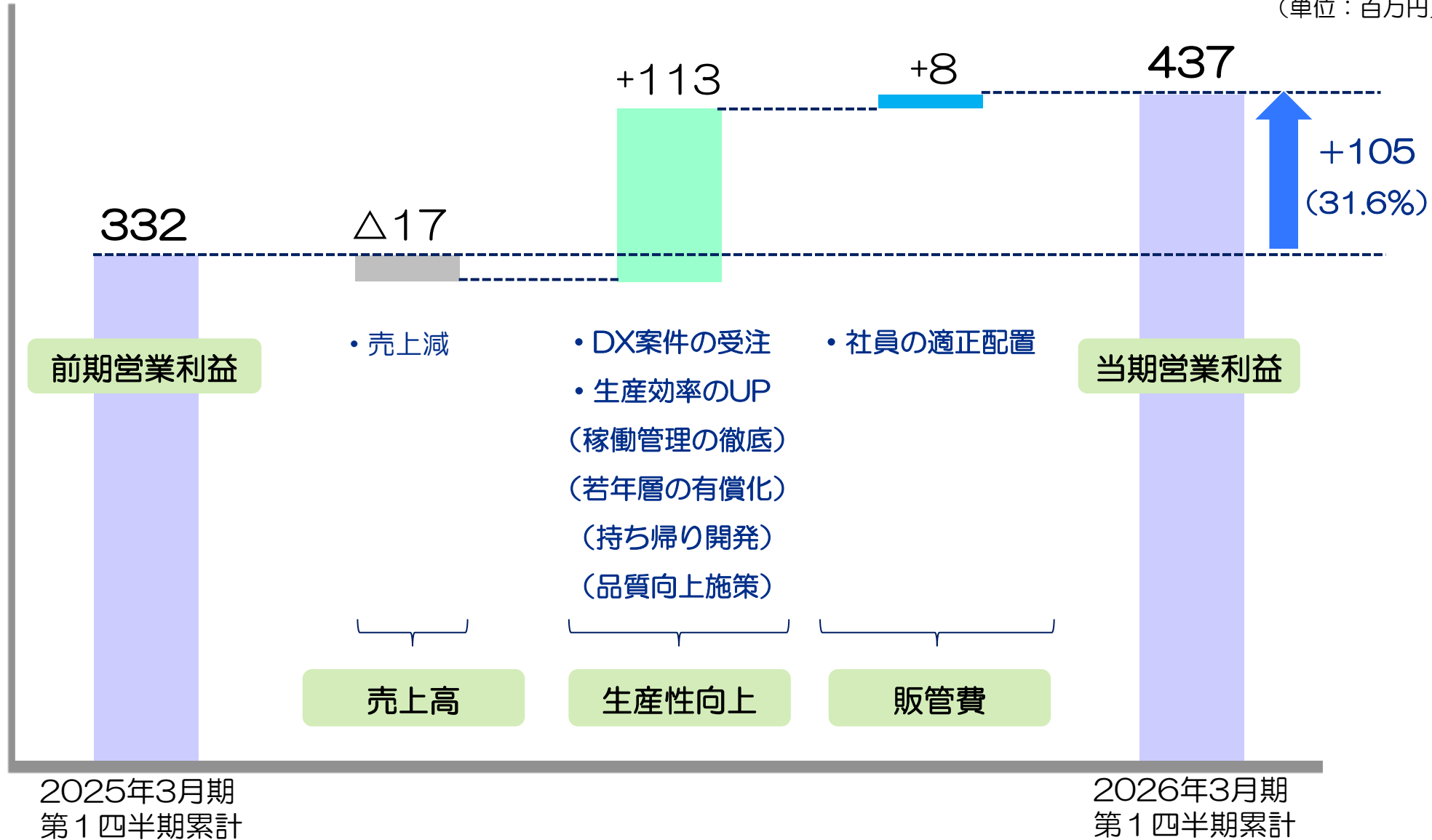
業種別売上高（ソフトウェア開発）

（単位：百万円）

業 種	2025.3月期 第1四半期（累計）	2026.3月期 第1四半期（累計）	増減額	増減率(%)
金 融	3,048	2,901	△146	△4.8%
銀行	733	729	△3	△0.5%
証券	315	284	△30	△9.8%
生命保険	595	489	△106	△17.8%
損害保険	1,036	982	△54	△5.3%
その他	367	415	48	13.2%
非 金 融	1,136	1,187	51	4.5%
通信	406	462	56	13.8%
その他	730	725	△4	△0.6%

セグメント	業種	売上高増減要因
金 融	銀行	(一) ネットバンキング開発案件の収束
	証券	(一) ネット系証券の案件対応の区切り
	生命保険	(一一) 支払・新募集管理開発案件の縮小
	損害保険	(一) 複数の基幹系システム保守案件の縮小
	その他	(++) リース会社向けのパッケージ活用案件拡大 政府系機関の基幹システム刷新案件体制拡大
非金融	通信	(++) 基盤構築やアジャイル開発案件の体制拡大
	その他	(+) マイナポータル連携サービスシステムの拡大 (一) 年金機構案件の体制縮小

(単位：百万円)



3. 2026年3月期 業績見通し

業種別 受注残高(ソフトウェア開発)

(単位：百万円)

業種		2025.3月期 第1四半期(累計)	2026.3月期 第1四半期(累計)	増減額	増減率
金融	銀行	473	462	△10	△2.2%
	証券	205	190	△15	△7.4%
	生命保険	315	308	△6	△2.2%
	損害保険	546	548	2	0.4%
	その他金融	399	262	△137	△34.3%
非金融	通信	272	299	26	9.7%
	その他非金融	324	423	99	30.7%
合 計		2,537	2,495	△41	△1.6%

(単位：百万円)

	2025.3月期 実績	2026.3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	17,342	19,000	1,657	9.6%
営業利益 (営業利益率)	1,658 9.6%	1,710 9.0%	51	3.1%
経常利益 (経常利益率)	1,627 9.4%	1,720 9.1%	92	5.7%
当期純利益	1,194	1,195	0	0.0%

売上、営業利益ともに、通期計画に対し、約22～26%まで進捗

売上

1Q進捗率
22.0%

4,174
百万円

達成まで
14,825百万円

通期予想
19,000百万円

4,273
百万円

← 前年同期予想における進捗率 24.0%

前年通期予想
17,800百万円

1Q進捗率
25.6%

437
百万円

達成まで
1,272百万円

通期予想
1,710百万円

営業利益

332
百万円

← 前年同期予想における進捗率 19.6%

前年通期予想
1,700百万円

4. 参考資料

貸借対照表

(単位：百万円)

前事業年度
(2025年3月31日)

当第1四半期累計期間
(2025年6月30日)

資産の部

流動資産	11,420	11,430
固定資産	1,554	1,667
資産合計	12,975	13,097

負債の部

流動負債	2,021	2,196
固定負債	2,132	2,131
負債合計	4,154	4,327

純資産の部

株主資本	8,474	8,345
評価・換算差額等	346	424
純資産合計	8,820	8,769
負債純資産合計	12,975	13,097

最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、
よろしくお願い申し上げます。

* 本資料についてのご注意

本資料は、2026年3月期第1四半期の業績および今後の業績見通しに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。